

総合研究棟（筑紫地区）貸し出しスペース（6,7階）のご案内

総合研究棟（筑紫地区）は、平成16年3月に完成し、同年4月より運用しています。

この7階建ての建物の3階から7階が研究スペースになっており（1,2階は附属図書館筑紫分館）**特に6,7階は、九大内の研究室に有料で貸し出す研究スペース（コラボスペース）**となっております。

ここでは7階、6階の順で貸し出しスペースの仕様を紹介します。（ご利用の仕方は、「九州大学総合研究棟（筑紫地区）規程」に拠ります。）



3階 ロビー

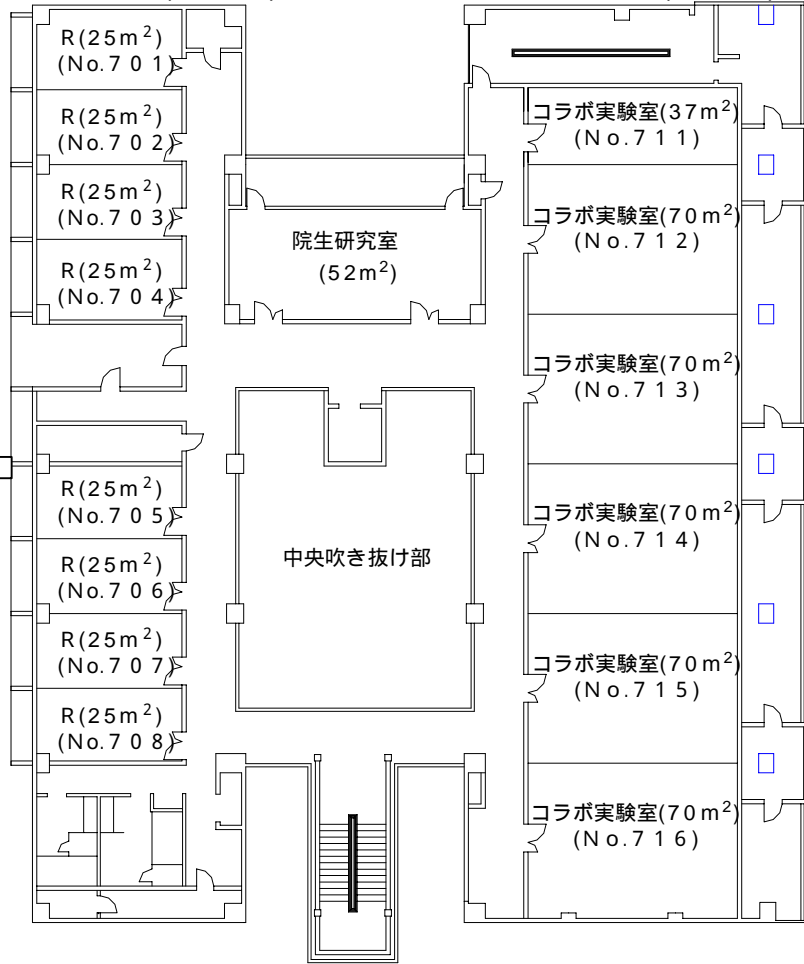


1階（附属図書館筑紫分館）

貸し出しスペース・部屋番号と面積

北ウイング(研究室)

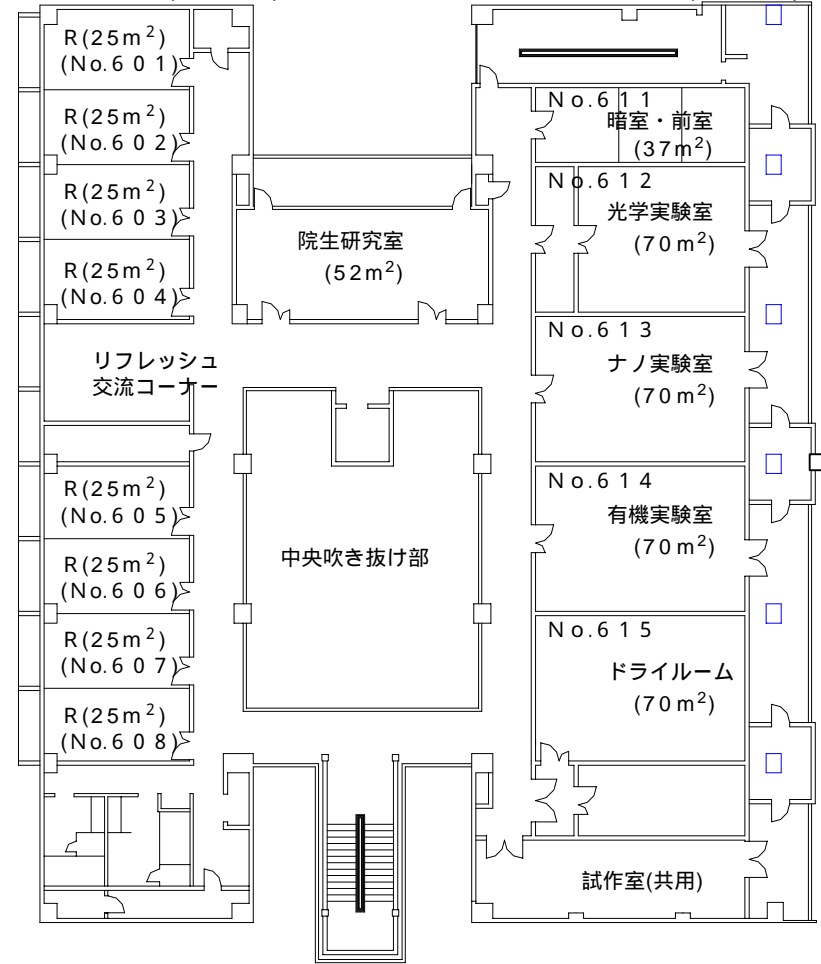
南ウイング(実験室)



7階全体図

北ウイング(研究室)

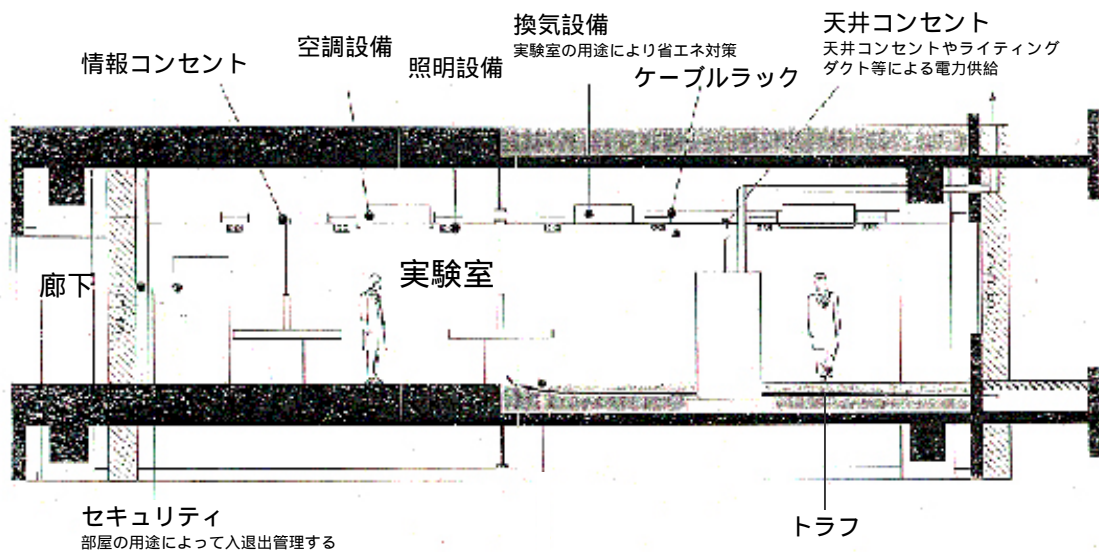
南ウイング(実験室)



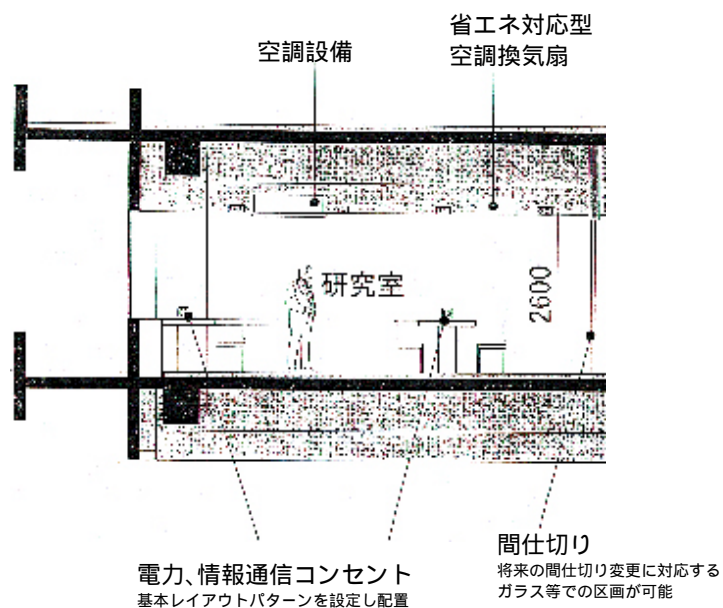
6階全体図

7階の説明（図面上の室内設備の位置は、実際の配置とは異なる場合があります。）

3ページの図にありますように、7階は南ウイングの汎用コラボ実験室（部屋番号711～716；37平米1スパン+70平米5スパン）、北ウイングの汎用研究室R8室（部屋番号701～708）が有料（1平米当り年間1万円）の貸し出しスペースです。利用形態のイメージ図を下に示します。南北ウイングとも間仕切りをせずに広く使用することも可能です。中央の院生研究室は7階を使用する大学院生、研究員が無料で利用できます。総合研究棟は全室とも空調は完備されております。

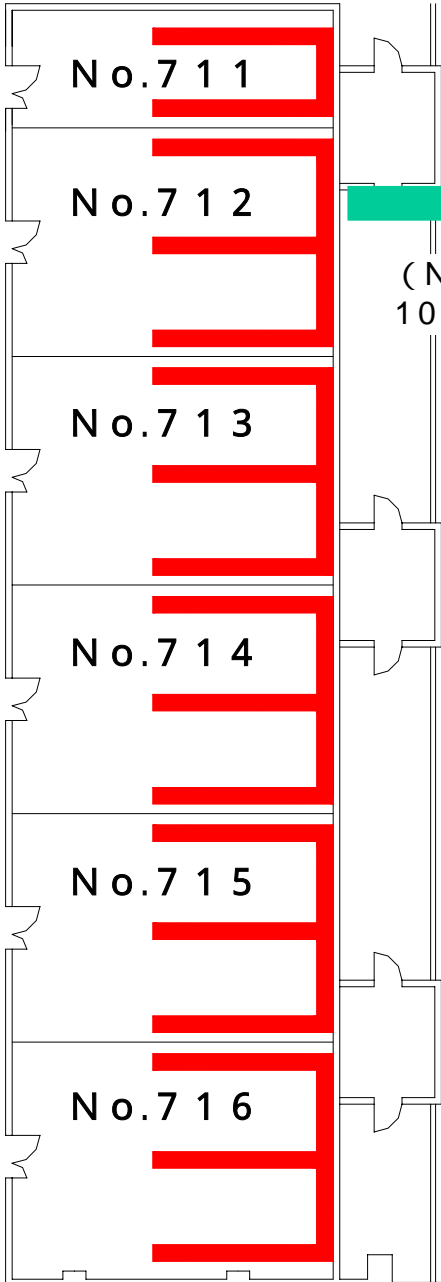


7階南ウイング・実験室断面イメージ



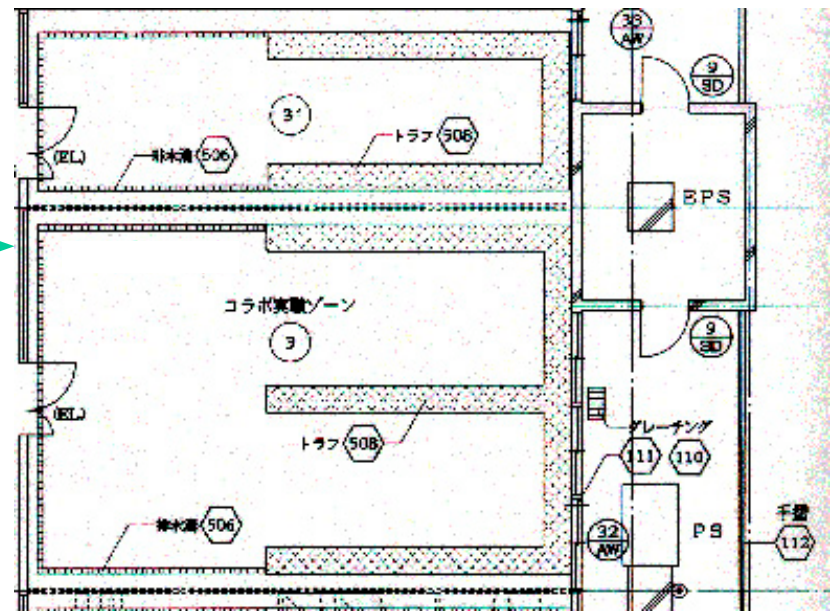
6、7階北ウイング・研究室（R）の断面イメージ

7階南ウイング・トラフ配置図

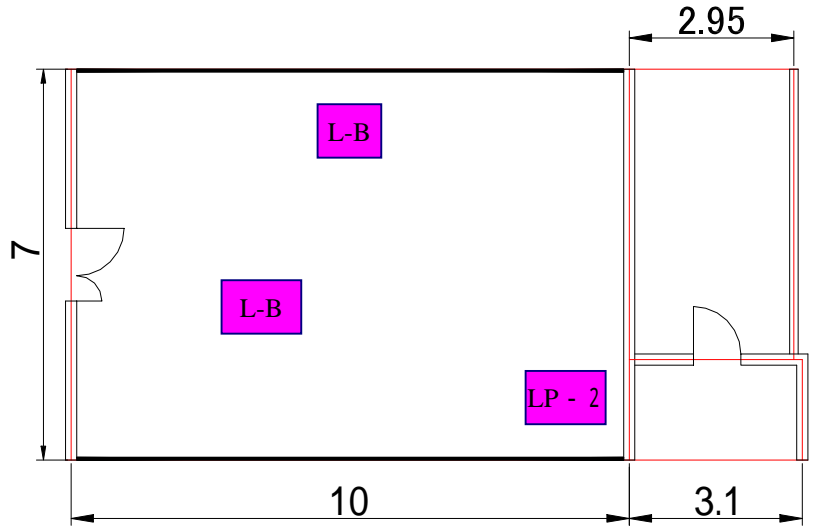


No.711 (37m²)
+ No.712 (70m²)

(No.711、712は、合わせて
107m²の実験室として貸し出し予定)



No.712 ~ 716
(各70m²)

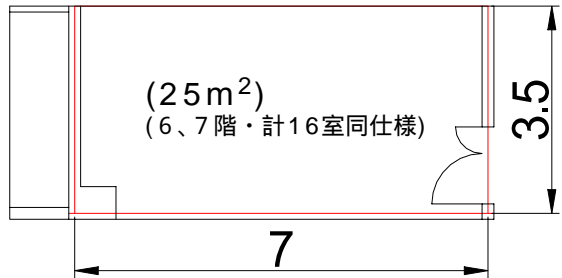
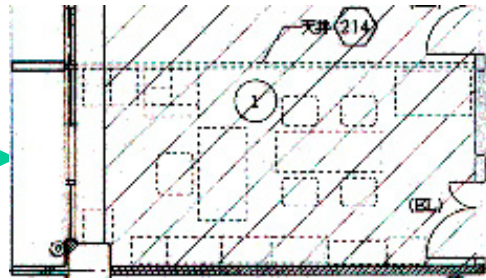
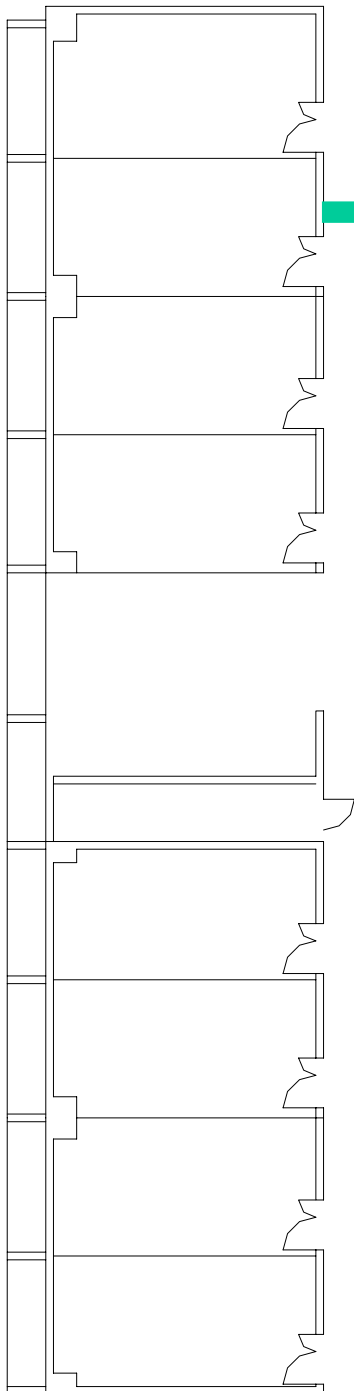


分電盤名称	L-B	LP-2
実験電力(单相100V,200V)	6,000VA	30,000VA
実験動力(3相200V)	0VA	12,200VA

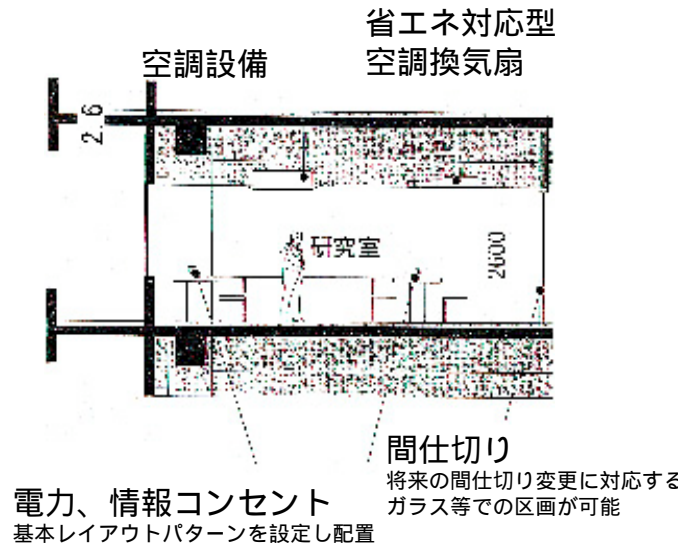
7階南・コラボ実験室の寸法と設備 (単位 m)

6, 7階北ウイング研究室 R(No.701~708)仕様

No.601~608



(単位 m)



断面イメージ図

(部屋内には給水設備はありません。給湯設備は各階リフレッシュコーナーにあります)

6階の説明（図面上の室内設備の位置は、実際の配置とは異なる場合があります。）

3ページの図にありますように、6階は南ウイングの各種実験室（部屋番号611～615）、北ウイングの汎用研究室R8室（部屋番号601～608）が有料（1平米当り年間1万円）の貸し出しスペースです。中央の院生研究室は6階を使用する大学院生、研究員が無料で利用できます。（全室空調完備）

6階の北ウイングは7階と同様の仕様です。以下に6階南ウイング各種実験室の用途を説明します。9ページ以下に各室の仕様を図で紹介します。6階実験室はある程度の設備が備え付けられており、入居後迅速に研究を始めることができます。

611 暗室・前室（図はp9）

光散乱測定による高分子材料などの基礎物性研究や、レーザー分光、微弱発光測定など、迷光を防ぐ必要がある実験に用いる。実験準備等のための前室が設けられており、暗室内部は実験間の干渉を防ぐために遮光間仕切りで二つに区切られている。電源や情報コンセントなどは区画ごとに設けられている。空気バネ式光学除振台、片袖机、作業用チェア、ユニット流し台、薬品器具戸棚、サイド実験台などが設置されている。南側と東側壁面沿いにトラフ（床配管ピット）がある。

612 光学実験室（図はp10）

レーザーなどを用いて光物性、熱物性などを測定する物理系実験を想定した実験室で、窓を設けておらず、無塵・暗黒を必要とする実験に向いている。レーザー光によるダストの焼き付きを防ぐため、簡易無塵室仕様となっており、空調系に装備された0.3 μ mのHEPAフィルターによってクラス10,000程度のクリーン度が確保されている。また、部屋の南側には機器の設置に配慮して空調機の制気口がない。入口側には前室が設けられており、室内は土足厳禁とする。空気バネ式光学除振台2台、サイド実験台、耐震薬品庫、薬品器具戸棚などが設置されている。南側壁面沿いのみにトラフ（床配管ピット）がある。

613 ナノ実験室（図はp11）

物質・材料などのナノ構造評価のための精密機器設置を想定した実験室である。高分解能電子顕微鏡、走査型トンネル顕微鏡、各種操作プローブ顕微鏡などの設置を想定し、空調機からの風が機器に直接当たらないように配慮されている。また、温度変化を最小限に抑えるため、空調機の温度センサが室内（通常は空調機）に設置されている。空気バネ式光学除振台、サイド実験台、耐震薬品庫、薬品器具戸棚、片袖デスク、作業用チェア、ユニット流し台などが設置されている。南側と東西壁面沿いにトラフ（床配管ピット）がある。

6 1 4 有機実験室（図は p 12）

有機合成実験、特に臭気が発生する可能性のある薬品類の取り扱いを想定した実験室で、有機溶媒用吸着剤付ドラフトチャンバー、ステンレス流し台付き中央実験台、サイド実験台、除振台付き天秤台、耐震薬品庫、薬品器具戸棚、防爆冷凍冷蔵庫、ユニット流し台などが設置されている。有圧換気扇が2基装備されており、室内を若干の負圧とすることで館内への臭気の漏れ出しを防いでいる。南側と東西壁面沿いおよび部屋中央にトラフ（床配管ピット）がある。

6 1 5 ドライルーム（図は p 13）

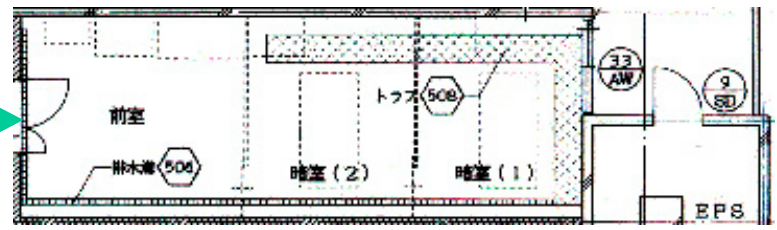
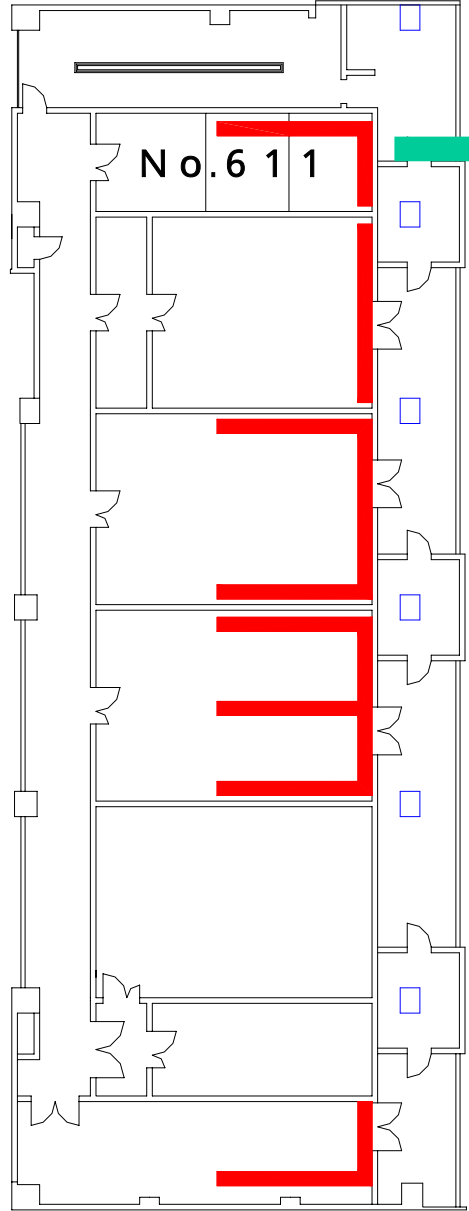
OH基に敏感な赤外分光測定や結露を嫌う精密光学実験、およびリチウムイオン二次電池、有機金属など禁水性・吸湿性物質の合成、測定などの各種実験を行うための実験室で、気密パネル組立式プレハブと除湿器により露点温度-50 以下の極低湿度環境を実現する。室温は 20 ± 5 に保持され、HEPAフィルターによってクラス10,000程度のクリーン度とする。入退室のための前室と、除湿器・空調機・自動制御盤を収容する機械室が附属する。

ドライルームの仕様は、W 9,600 × D 6,700 × H 2,500 mm、帯電防止鋼板張り断熱パネル、床は導電塩ビシート張り、耐荷重700 kgf/m²、入口寸法W1,200 × H1,700 mm（エアタイト扉） 想定作業人員2名。

エアカーテン式ドラフトチャンバー、除振台付き天秤台、耐震薬品庫、中央実験台、薬品器具戸棚などが設置されている。

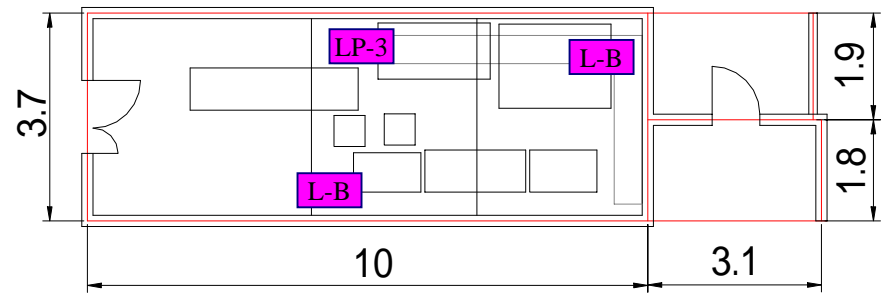
この他6階には各種工作機械を備えた全階共用の試作室があります。

6階南ウイング・トラフ配置図



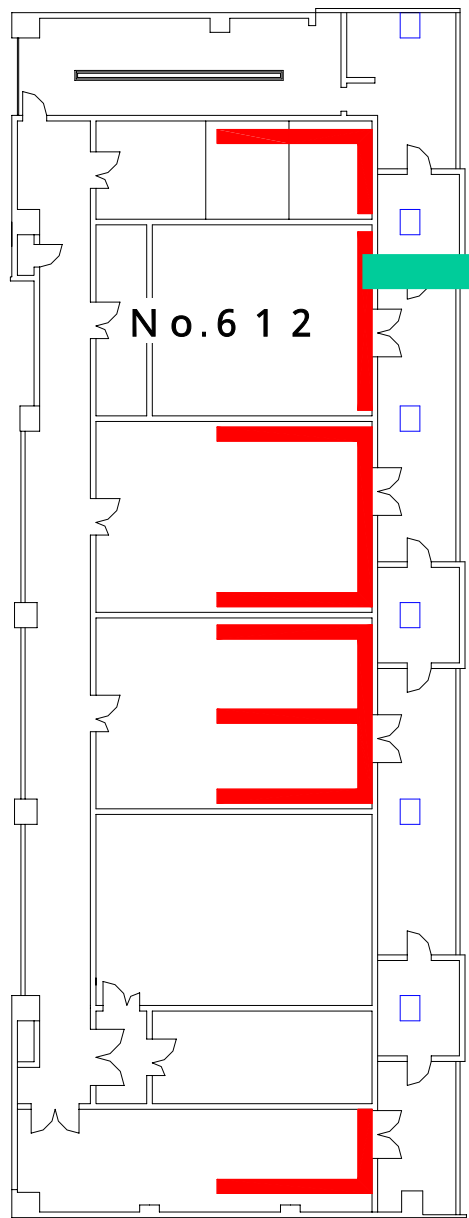
No.611 暗室・前室

- ・前室を設置
- ・実験間の干渉を防ぐため遮断間仕切りで部屋を分割

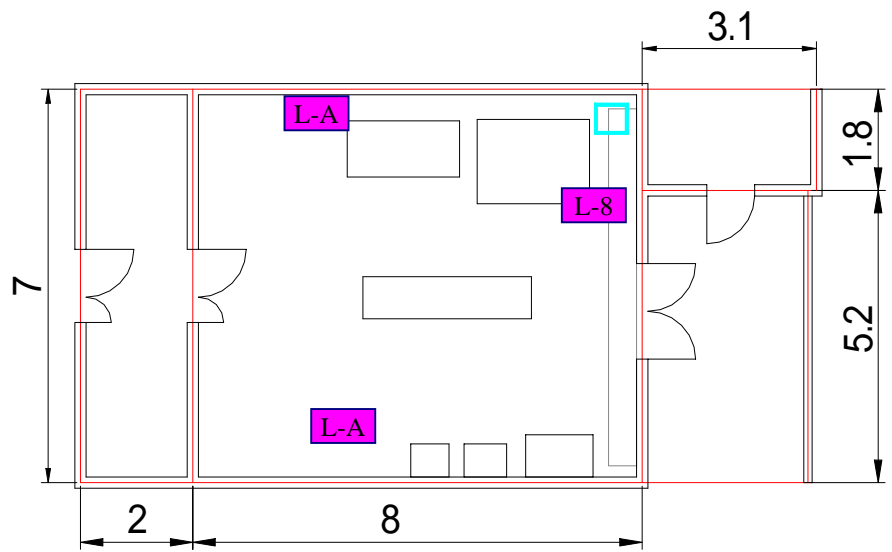
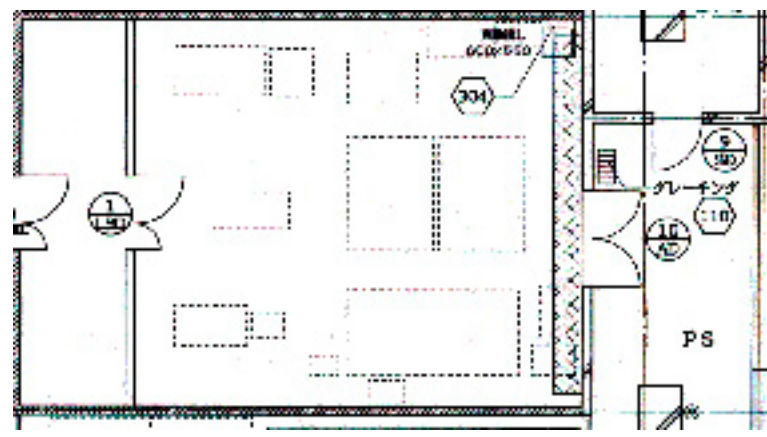


暗室・前室			
広さ	37m ² (3.7m × 10m)		
設備	空気バネ式光学除振台	W2000 × D1500 × H800	1台
	空気バネ式光学除振台	W2000 × D1000 × H800	1台
	薬品器具戸棚	W1200 × D750 × H700	1台
	片袖デスク	W1200 × D700 × H700	1台
	作業用チェア	W553 × D553 × H410	2脚
	サイド実験台	W3000 × D750 × H800	1台
	ユニット流し台	W1800 × D750 × H800	1台
	分電盤名称	L-B	LP-3
実験電力(单相100V,200V)	6,000VA	9,000VA	21,000VA
実験動力(3相200V)	0VA	59,950VA	59,950VA

6階南ウイング・トラフ配置図

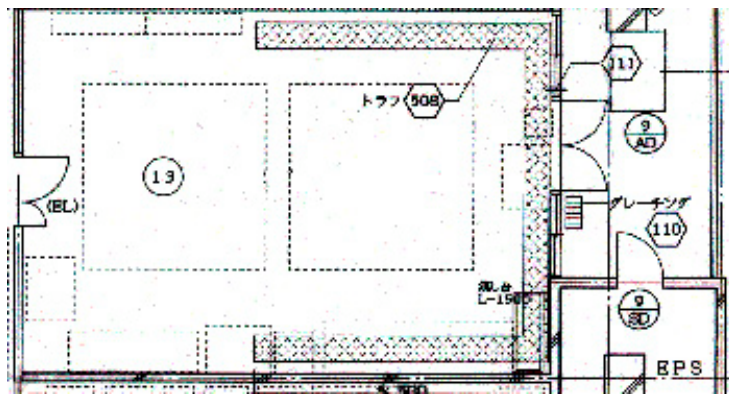
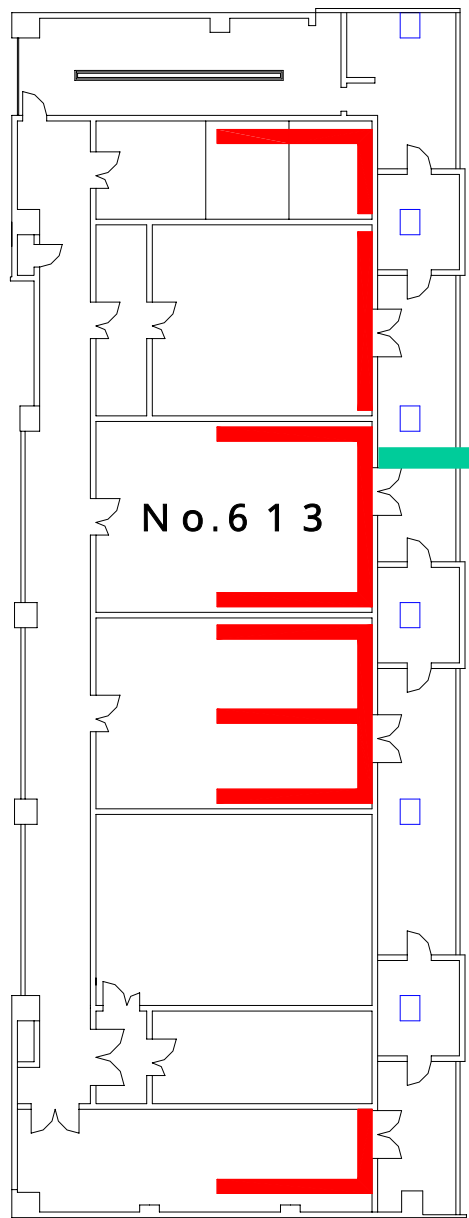


No.612 光学実験室
 ・窓無し
 ・クラス10,000程度のクリーン度



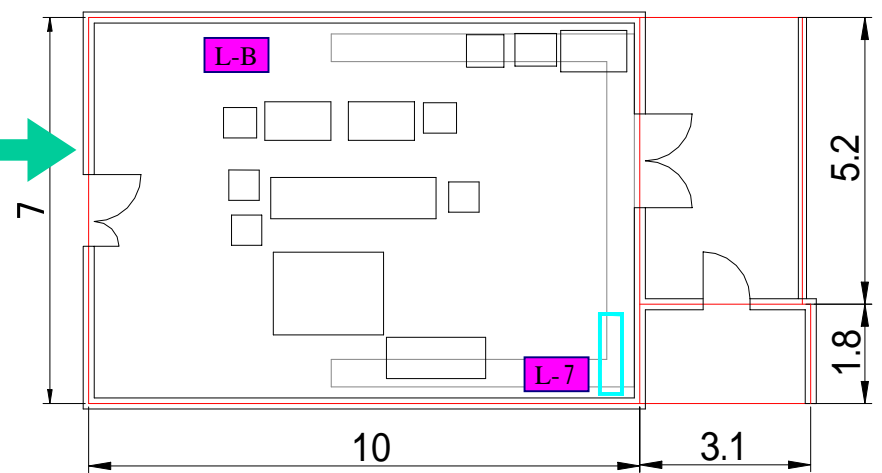
光学実験室			
広さ	70m ² (7m×10m)		
設備	空気バネ式光学除振台	W2000×D1500×H800	1台
	空気バネ式光学除振台	W2000×D1000×H800	1台
	サイド実験台	W3000×D750×H800	2台
	耐震薬品庫	W680×D590×H750	1台
	耐震薬品庫	W755×D590×H1800	1台
	薬品器具戸棚	W1200×D750×H2400	1台
	流し台	W600×D550	1台
分電盤名称	L-A	LP-8	合計
実験電力(単相100V,200V)	4,000VA	5,200VA	13,200VA
実験動力(3相200V)	0VA	11200VA	11,200VA

6階南ウイング・トラフ配置図



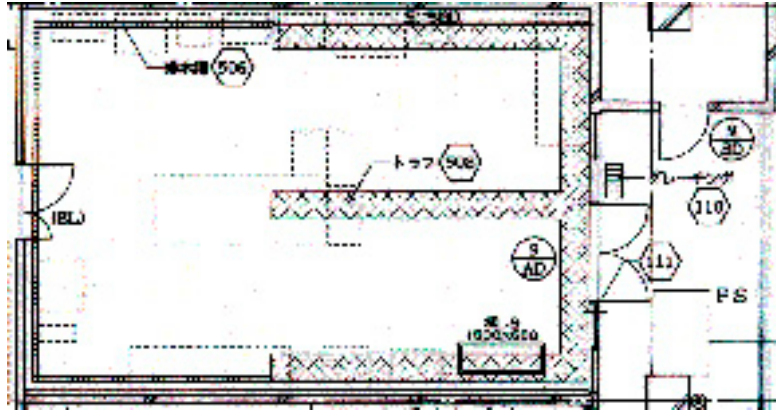
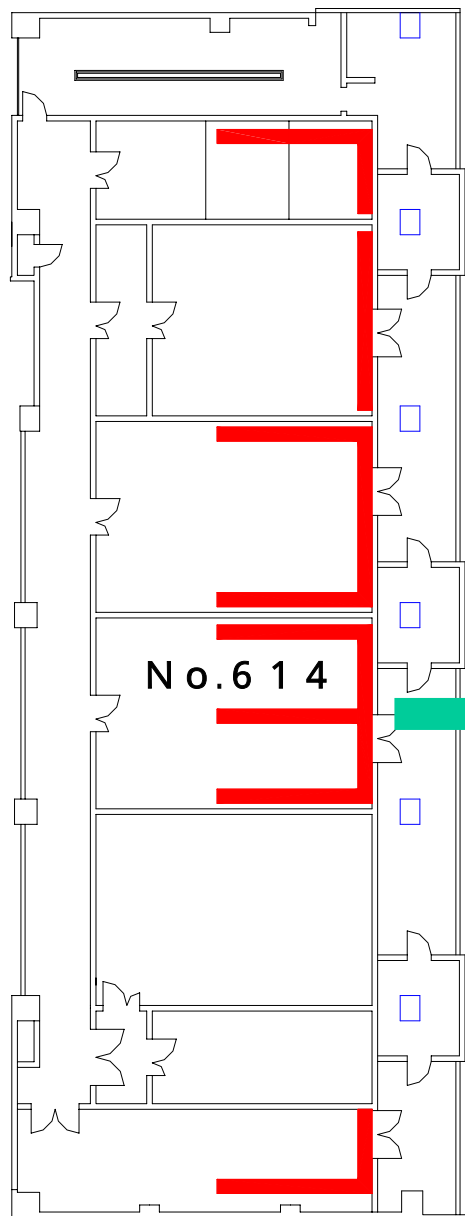
No.613 ナノ実験室

- ・精密機器設置を想定
- ・空調の風への配慮
- ・室内温度変化を最小限に設定



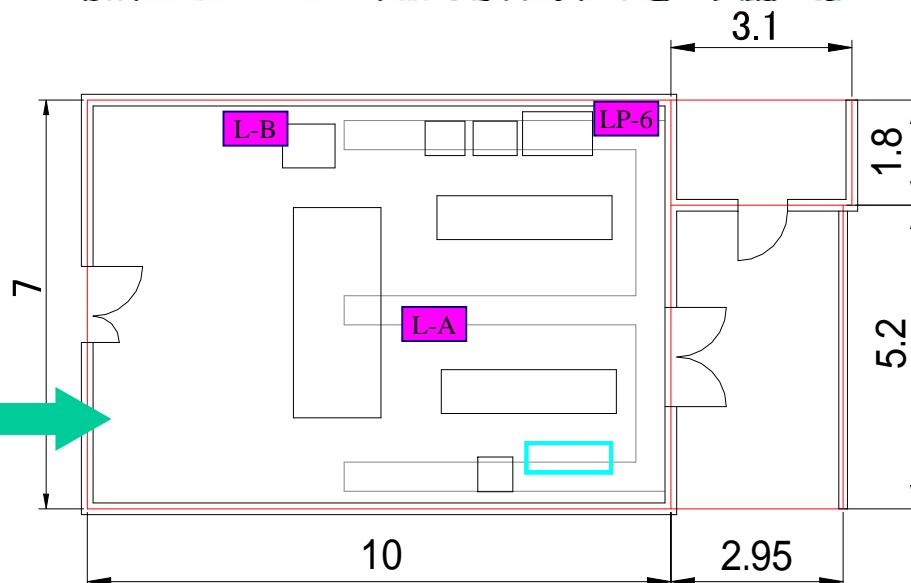
ナノ実験室			
広さ	70㎡ (7m × 10m)		
設備	空気バネ式光学除振台	W2000 × D1500 × H800	1台
	サイド実験台	W3000 × D750 × H800	1台
	耐震薬品庫	W680 × D590 × H750	1台
	耐震薬品庫	W755 × D590 × H1800	1台
	薬品器具戸棚	W1200 × D750 × H2400	1台
	片袖デスク	W1200 × D700 × H700	2台
	可動肘付回転椅子	W600 × D550 × H895	2脚
	作業用チェア	W553 × D553 × H410	3脚
	ユニット流し台	W1800 × D750 × H800	1台
	流し台	W450 × D1500	
分電盤名称	L-B	LP-7	合計
実験電力(单相100V,200V)	6,000VA	16,600VA	22,600VA
実験動力(三相200V)	0VA	1,200VA	1,200VA

6階南ウイング・トラフ配置図



No.614 有機実験室

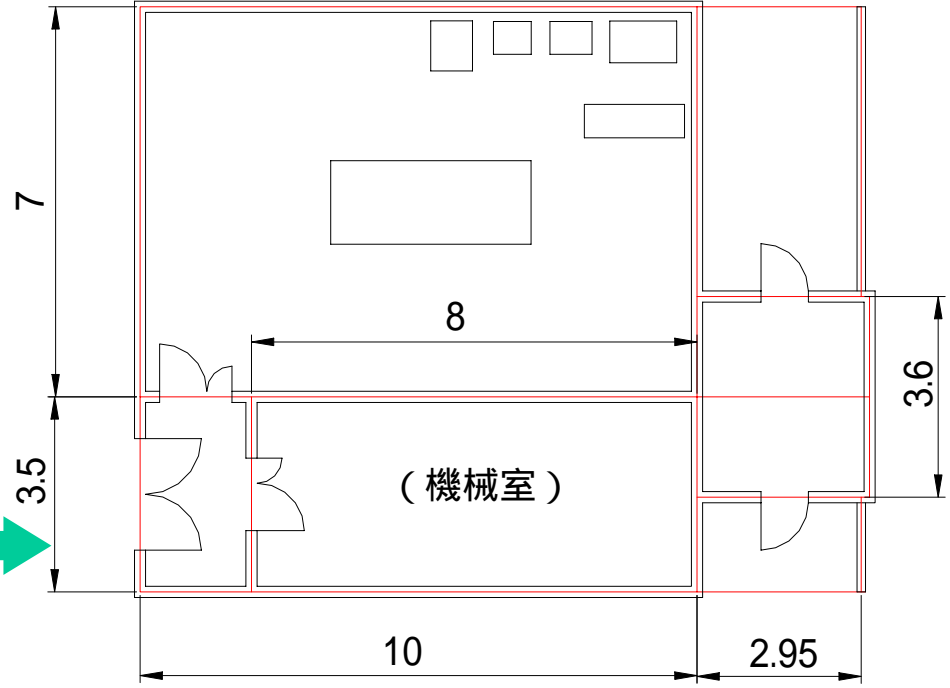
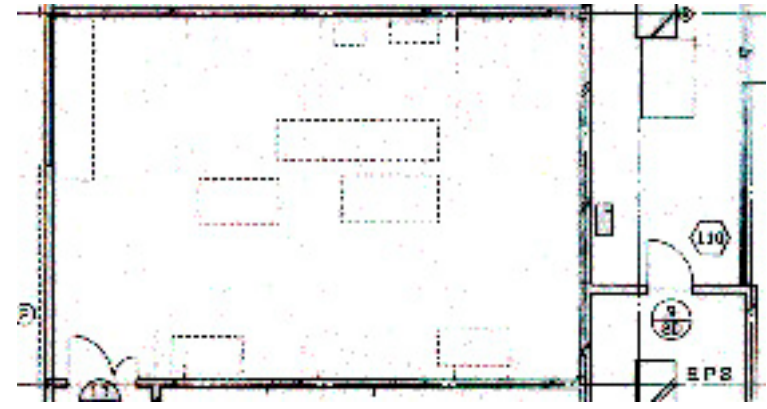
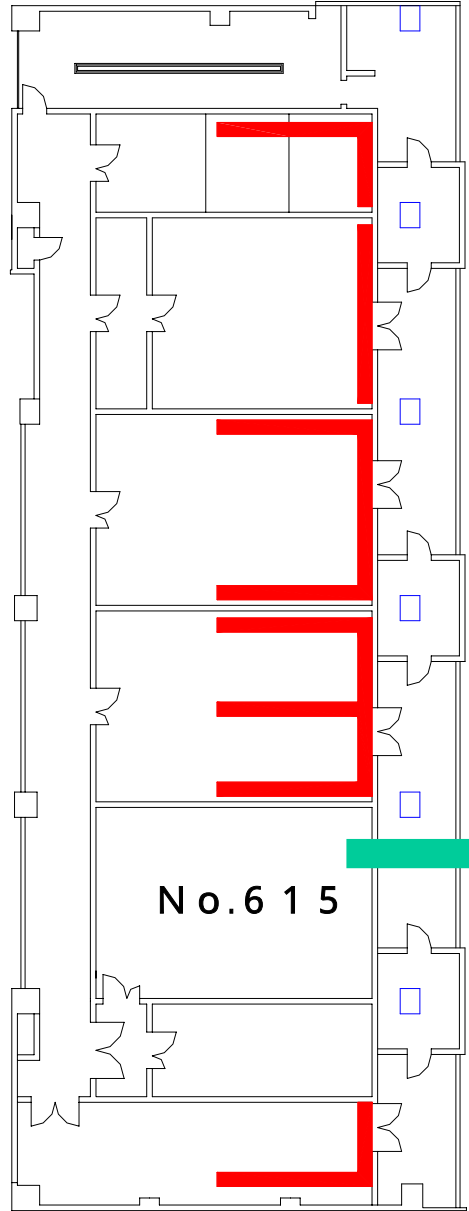
・室内を負圧に設定。臭気の漏れを防止



有機実験室			
広さ	70m ² (7m×10m)		
設備	サイド実験台	W3000×D750×H800	2台
	除振台着き天秤台	W900×D750×H800	1台
	ステンレス流し台付き中央実験台	W3600×D1500×H800	1台
	耐震薬品庫	W680×D590×H750	1台
	耐震薬品庫	W755×D590×H1800	1台
	薬品器具戸棚	W1200×D750×H2400	1台
	防爆冷凍冷蔵庫	W680×D595×H1690	1台
	流し台	W1500×D500	

分電盤名称	L-A	L-B	LP-6	合計
実験電力(单相100V,200V)	4,000VA	6,000VA	4,200VA	14,200VA
実験動力(3相200V)	0VA	0VA	5,200VA	5,200VA

6階南ウイング・トラフ配置図



No.615 ドライルーム

- ・極低湿度環境
- ・クラス10,000程度のクリーン度
- ・前室を設置
- ・機械室を付属
- ・帯電防止鋼板張り
断熱パネル
- ・床は導電塩ビニルシート張り
(ドライルーム70m²、前室・機械室35m²
使用料は105万円/年)

ドライルーム			
広さ	70m ² (7m × 10m)		
設備	除振台着き天秤台	W900 × D750 × H800	1台
	耐震薬品庫	W680 × D590 × H750	1台
	耐震薬品庫	W755 × D590 × H1800	1台
	中央実験台	W3600 × D1500 × H800	1台
	薬品器具戸棚	W1200 × D750 × H2400	1台
	エアカーテン式ドラフトチャンバー	W1800 × D600 × H2200	1式